



「チャレンジ・フォーラム2015」を開催します

1 開催趣旨

地方創生の実現に向けて、創意工夫した地域の取組を関係者間で共有し、一層の活動の活性化につなげるため、「チャレンジ・フォーラム2015」を開催します。

対象

行政はもとより、実際に地域で活動している方（団体・個人）や、活動に関心を持ち、今後の担い手となり得る県民の皆さん

2 開催概要

日時	平成27年10月14日(水) 12:30～		
会場	広島県民文化センター（広島市中区大手町一丁目5-3）		
プログラム (50名)	第1部 (50名)	I 知事あいさつ・プレゼンテーション II 「まち」「ひと」「しごと」の事例発表・表彰 事前の選定に基づき、「まち」「ひと」「しごと」分野から、各1事例（計3事例）を発表 プレゼンター 伊藤 敏安 氏（広島大学地域経済システム研究センター長・教授） III 講演・トークセッション 講演 大南 信也 氏（特定非営利活動法人グリーンバレー理事長） 事例紹介 ナカムラケンタ氏（日本仕事百貨代表／株式会社シゴトヒト代表取締役） コーディネーター 和田 崇 氏（県立広島大学経営情報学部准教授）	12:30 ～ 16:00
	第2部 (50名)	ゲストスピーカーを囲んで意見交換・交流会 会費制	16:30 ～ 19:00

3 発表事例

まち

「学びのカフェ」物語
～ひとが変わりまちが変わる～
(大竹市)



ひと

地域が活きる！地域で活きる！
“学生集落ふいご隊”
(神石高原町)



しごと

「祇園坊柿 チョコちゃん」
おみやげグランプリ2015準V獲得
への道のり
(安芸太田町)





地方創生の取り組みが 始まっています

広島から
地方
創生!

チャレンジ・フォーラム 2015

入場無料

定員 500名

※ 要事前申込

地方創生のヒントが盛りだくさんの
事例集をプレゼント!

地方創生の実現に向けて、創意工夫した地域の取り組みを発表する
「チャレンジ・フォーラム」を開催します!

とき

平成 27年 **10月14日** 水
12:30 ~ 19:00 (受付 11:30)

ところ

広島県民文化センター
広島市中区大手町1丁目5-3

特別講演

人口約6千人。駅からバスで60分。特産品スタヂ。高齢化率約46%…。
ここにいまひとが集いしごとが生まれまちが輝く。
ウェブデザイナー、システムエンジニア、個性派シェフ、
ITベンチャーサテライト、映像制作会社、クラウド名刺管理会社、
古民家オフィス、オーガニックフードプロジェクト、オープンアトリエ
全国から視察が殺到するまち。
まちはいかにして光を放ち始めたのか…。



▼ プログラム

第1部

- 12:30 知事あいさつ・プレゼンテーション
- 12:50 「まち」「ひと」「しごと」の事例発表・表彰
 プレゼンター 伊藤 敏安氏 (広島大学地域経済システム研究センター長・教授)
- 14:10 講演・トークセッション
 講演 大南 信也氏
 事例紹介 ナカムラ ケンタ氏
 コーディネーター 和田 崇氏 (県立広島大学経営情報学部准教授)

第2部

- 16:30 意見交換・交流会 定員50名/参加費3,000円
 ※ 参加希望の方は10月5日(月)までにお申し込みください。

大南 信也氏

特定非営利活動法人
グリーンバレー理事長

Shinya Ominami

1953年徳島県神山町生まれ。米国スタンフォード大学院修了。過疎地域が
生き残るための解決策を見いだそうと、90年代初頭よりアートや環境を柱
に地域と世界をつなぎ、グローバルな視点での地域活性化を展開。多様な
人が集う「せかいのかみやま」を目指し、若者や起業者の移住、ITベン
チャー企業のサテライトオフィス誘致による雇用の創出などに取り組む。



ナカムラ ケンタ氏

日本仕事百貨代表/
株式会社シゴトヒト代表取締役

Kenta Nakamura

1979年東京生まれ。明治大学大学院建築学専攻卒業。生きる
ように働く人の求人サイト「日本仕事百貨」を企画運営。東京
の真ん中に小さなまちをつくるプロジェクト「リトルトーキョー」
や「しごとバー」の企画・デザインを監修。2015年度グッド
デザイン賞審査委員。著書「シゴトとヒトの間を考える」



チャレンジ・フォーラム 2015

発表事例のご紹介 >>>

- まち
- ひと
- しごと

発表事例は、「実践者」(市町、NPO、ボランティア)や「県民」(学生、メディア)からの推薦を踏まえ、選定委員が「まち」「ひと」「しごと」からそれぞれ1事例を選定しました。

フォーラム選定委員

- 委員長
伊藤 敏安 氏 (広島大学地域経済システム研究センター長・教授)
- 委員
和田 崇 氏 (県立広島大学経営情報学准教授)
- 委員
大南 信也 氏 (特定非営利活動法人グリーンバレー理事長)

まち

「学びのカフェ」物語 (大竹市)

～ひとが変わりまちが変わる～



かつて西国街道の宿場町として栄え、白漆喰の壁や格子の美しい街並みが現在も残る歴史と癒しのまち、大竹市玖波(くは)。しかし、空き家や商店街の空き店舗の増加、住民同士の繋がりの希薄化など多くの課題を抱え、住民の交流・協働の場であるはずの玖波公民館も老朽化し、来館者が減り、自主事業もマンネリ化していた。そんな公民館が「学びのカフェ」、そして「地域ジン学びのカフェ」という自主事業を実施することで地域活動の拠点となり、ひとが変わることで、まちが変わり、輝きを取り戻していくまでを紹介する。

ひと

地域が活きる！地域で活きる！

「学生集落ふいで隊」(神石高原町)



「神石高原町小野地域」では、県内外の大学生で構成するグループ「学生集落ふいで隊」が、地域おこしをサポートしている。普段はまちの外に住む大学生たちが、地域おこし協力隊とともに、どのように地域のためになる関わり方が出来るかを考え、地域に通い、活動を展開していったのか。また、その活動がどのように学生と地域おこし協力隊、地域とのつながりを生んだのか。そして、学生たちにとって、地域へ通うことのメリットは何なのかを語る。

しごと

祇園坊柿 チョコちゃん (安芸太田町)

～おみやげグランプリ2015準V獲得への道のり～



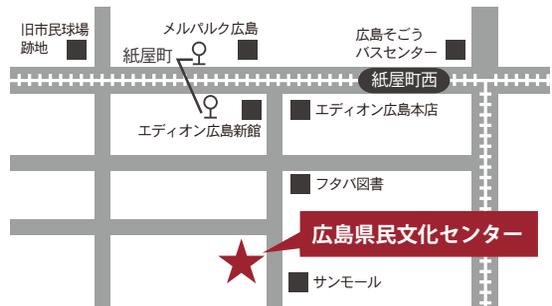
安芸太田町が日本一の産地である「祇園坊柿」の知名度向上のため、平均年齢80歳の女性グループ「寺領味野里(じりょうあじのさと)」が15年前から作り続けている干柿スイーツ「チョコちゃん」は、平成27年1月に国内最大級の地方産品コンテスト「おみやげグランプリ2015」で準Vを獲得!!寺領味野里の取り組みに共感した「よそ者・若者」の手によって「チョコちゃん」が売れる産品に生まれ変わった。その着眼点・戦略とは?

広島県民文化センター

広島市中区大手町1丁目5-3

バス・電車：「紙屋町」「紙屋町西」で下車

- 広島駅から・・・バス、電車で約10分
- 広島バスセンターから・・・徒歩約3分
- 広島港から・・・バス、電車で約30分
- アストラムライン本通駅から・・・徒歩約2分



参加申込書

必要事項を記入し、FAXまたは電子メールでお申し込みください。
また、オンラインでもお申し込み可能ですので、是非ご利用ください。

フリガナ			
お名前			
住所			
電話番号	() -	E-mail	@
第二部参加希望	<input type="checkbox"/> 参加する (会費 3,000 円) <input type="checkbox"/> 参加しない		

※ 第二部の意見交換・交流会の参加について、希望のものにチェックを付けてください。

※ ご記入いただいた個人情報をこのフォーラムの連絡以外で利用することはありません。

FAX

082-212-4025

電子メール

soukeiei@pref.hiroshima.lg.jp

オンライン
申し込み

チャレンジ創生 広島 で検索

または、携帯から右のQRコードを読み込んでアクセスして下さい。

